



受賞は(為替ヘッジなし)のみです。受賞についての詳細は最終ページをご覧ください。

グローバル自動運転関連株式ファンド

(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)



第6期決算および分配金のお支払いについて

平素より「グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」(以下、当ファンド)をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。当ファンドは2023年4月10日に第6期決算を迎えましたので、ファンドの運用状況や今後の見通し等とあわせてご報告いたします。

当ファンドの組入投資信託の運用会社であるニューバーガー・バーマンのコメントを基に作成しています。

分配実績(1万口当たり、税引前)

第6期決算(2023年4月10日)の分配金額は、計算期間中の基準価額の水準等を勘案し、(為替ヘッジあり)は分配金のお支払いを見送り、(為替ヘッジなし)は50円(1万口当たり、税引前)といたしました。期末の基準価額は(為替ヘッジあり)14,187円、(為替ヘッジなし)18,053円となりました。

| 決算期 | | 第1~3期 | 第4期 | 第5期 | 第6期 | 設定来累計 |
|-----------|-----------------------|----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|
| | | 累計 | 2021年4月 | 2022年4月 | 2023年4月 | 2023/4/10まで |
| (為替ヘッジあり) | 分配金 (対前期末基準価額比率) | 100円 (1.0%) | 150円 (1.7%) | 0円 (0.0%) | 0円 (0.0%) | 250円 (2.5%) |
| | 騰落率 (税引前分配金再投資ベース) | -10.0% | 89.6% | -8.0% | -8.0% | 44.4% |
| (為替ヘッジなし) | 分配金 (対前期末基準価額比率) | 100円 (1.0%) | 150円 (1.7%) | 150円 (0.9%) | 50円 (0.3%) | 450円 (4.5%) |
| | 騰落率 (税引前分配金再投資ベース) | -8.8% | 93.3% | 3.5% | 1.8% | 85.8% |

(注1)「対前期末基準価額比率」は、各期の分配金(税引前)の前期末基準価額(分配金お支払い後)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。第1~3期と設定来累計の欄は、それぞれの分配金累計(税引前)の設定時10,000円に対する比率です。

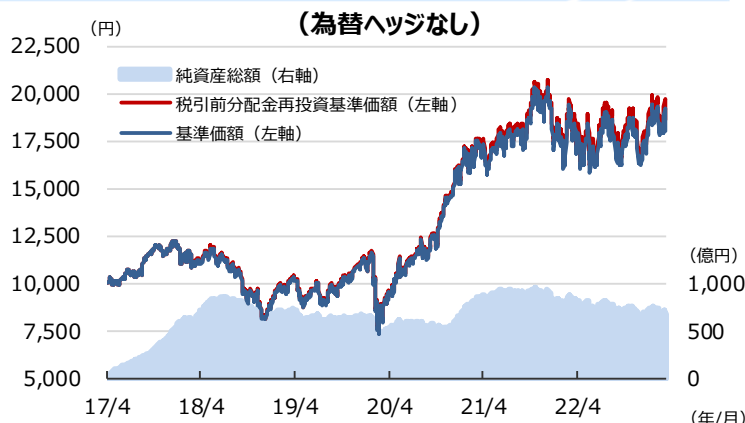
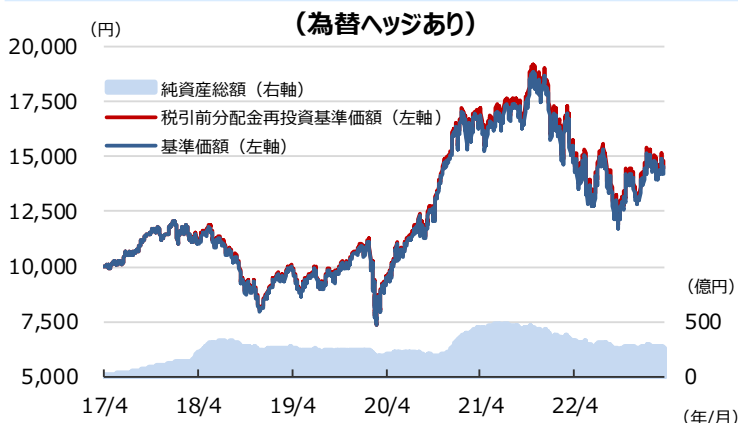
(注2)「騰落率」は税引前分配金再投資基準価額を基に算出したものであり、実際の投資家利回りとは異なります。第1~3期の欄は、設定日から第3期末までの騰落率です。

分配方針

- 年1回(原則として4月10日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。
- 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の範囲内とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

基準価額と純資産総額の推移(2017年4月28日(設定日)~2023年4月10日)



(注1) 基準価額、税引前分配金再投資基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果および分配を保証するものではありません。分配金額は委託会社が分配方針に基づき基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

※ ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは5ページをご覧ください。

当期の運用の振り返り

- 当期は、インフレ昂進を受け、欧米の中央銀行が急ピッチで利上げを行ったことから、景気悪化への懸念が強まりました。また、期末にかけて米シリコンバレー銀行やシグネチャー銀行の破綻、スイス金融大手のクレディ・スイス・グループが経営不安を受けUBSによる買収合意が発表されるなど、金融不安が強まったこともマイナス材料となりました。**金融引締めによる副作用への懸念が強まるなか、世界の主要な株式市場は概ね下落しました。**
- このような状況下、当ファンドの騰落率は、（為替ヘッジあり）が-8.0%、（為替ヘッジなし）が円安の影響もあり+1.8%となりました。個別銘柄では、レアアース鉱山を保有する**MPマテリアルズ（米国）**が下落し、マイナス寄与となりました。景気悪化による資源需要低迷への懸念などにより、鉱山関連株が幅広く下落したことが重石となりました。一方で、半導体メーカーの**ラティスセミコンダクター（米国）**が上昇し、プラス寄与となりました。自動運転に活用されるFPGA（フィールド・プログラマブル・ゲート・アレイ）領域で高い競争力を有しており、業績が底堅く推移したことが追い風となりました。

* 当ファンドの騰落率は税引前分配金再投資基準価額を基に算出したものであり、実際の投資家利回りとは異なります。

※ 個別銘柄に言及していますが、上記の銘柄を推奨するものではありません

組入上位10銘柄（2023年2月末現在）

組入銘柄数 67

| 順位 | 銘柄 国・地域/業種/自動運転に関連する技術 | 組入比率 (%) | 順位 | 銘柄 国・地域/業種/自動運転に関連する技術 | 組入比率 (%) |
|----|--|-------------|----|---|-------------|
| 1 | アンシス 米国 / ソフトウェア・サービス シミュレーションソフト | 4.1 | 6 | TECネクティビティ スイス / テクノロジー・ハードウェア・機器 車載コネクタ、車載カメラ | 2.7 |
| 2 | アナログ・デバイスズ 米国 / 半導体・半導体製造装置 自動車レーダー | 3.7 | 7 | トリンプル 米国 / テクノロジー・ハードウェア・機器 GPS（全地球測位システム） | 2.7 |
| 3 | アンフェノール 米国 / テクノロジー・ハードウェア・機器 車載コネクタ | 3.5 | 8 | ケイデンス・デザイン・システムズ 米国 / ソフトウェア・サービス 半導体開発用ソフトウェア | 2.6 |
| 4 | MPマテリアルズ 米国 / 素材 レアアース | 3.2 | 9 | ラティスセミコンダクター 米国 / 半導体・半導体製造装置 FPGA(フィールド・プログラマブル・ゲート・アレイ) | 2.6 |
| 5 | リンデ 英国 / 素材 水素燃料電池 | 2.8 | 10 | アプライド・マテリアルズ 米国 / 半導体・半導体製造装置 半導体製造装置 | 2.5 |

(注1) 組入比率は当ファンドの組入投資信託をシェアクラスとして含む「オートノマス・ビークル・ファンド」の純資産総額を100%として算出。
(注2) 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。なお、自動運転に関連する技術はニューバーク・バーマンによる分類です。
(出所) ニューバーク・バーマンのデータを基に委託会社作成

※ 上記は当ファンドの組入投資信託をシェアクラスとして含む「オートノマス・ビークル・ファンド」の投資対象銘柄であり、当ファンドにおいて今後も当該銘柄の保有を継続するとは限りません。また当該銘柄を推奨するものではありません。

今後の市場見通しと運用方針

- 一部の銀行の経営破綻などから金融システム不安が強まるなか、これまでのところは金融当局の迅速な対応が奏功しているといえます。しかしながら、米国の中小銀行から預金流出が継続しているとの報道もあり、**当面は不安感が払拭されない状況が継続**する可能性があります。
- 金融システム不安の影響で**長期金利が低下傾向にあることは、当ファンドの組入企業の株価にとっては追い風**であると考えます。2022年は、長期金利の上昇がハイテク関連銘柄中心に「グロース株」の重石となりました。**当ファンドは自動運転・EV（電気自動車）といった成長領域に注目していることから、一般的に「グロース株」とみられるような銘柄を多く組み入れており、長期金利の低下は株価反発のきっかけとなる可能性がある**といえます。引き続き、不確実性が高まる環境下でも業績成長が期待される自動運転関連銘柄の発掘に努める所存です。

※ 上記は過去の実績および当資料作成時点の見通し、運用方針であり、将来の運用成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。見直しおよび運用方針は、今後予告なく変更する場合があります。

ファンドの特色

- 自動運転技術の進化・普及により、業績拡大が期待される世界の企業の株式に投資します。
 - 自動運転の実現に必要な技術を持つ企業に着目します。
 - ※自動運転とは
ドライバー（人間）が行っている様々な運転操作をシステムが行うことを指します。
 - 実質的な運用は、リサーチ力に強みのあるニューバーガー・バーマン・グループが行います。
 - ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。
 - ※投資対象とする外国投資信託の運用は、ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シー（米国）が行います。
 - （為替ヘッジあり）と（為替ヘッジなし）の2つのファンドからお選びいただけます。
 - （為替ヘッジあり）
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。
 - （為替ヘッジなし）
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
 - ※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。「為替ヘッジあり」については、実質外貨建資産に対し原則として対円での為替ヘッジを行うため、為替の変動による影響は限定的と考えられます（ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。）。

■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 市場流動性リスク

ファンドの資金流入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

● 特定業種・テーマへの集中投資に関する留意点

ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。

- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

信託期間

2024年4月10日まで（2017年4月28日設定）

決算日

毎年4月10日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日
- 香港の取引所の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日
- ロンドンの銀行の休業日

スイッチング

販売会社によっては、（為替ヘッジあり）および（為替ヘッジなし）の間でスイッチングを取り扱う場合があります。また、販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に**3.30% (税抜き3.00%) を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に**年1.243% (税抜き1.13%)**の率を乗じた額です。
※投資対象とする投資信託の信託報酬等を含めた場合、**年1.903% (税抜き1.79%) 程度**となります。ただし、投資対象とする投資信託の運用管理費用は、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。
 - その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
 ※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。
- ※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

| | |
|------|---|
| 委託会社 | <p>ファンドの運用の指図等を行います。</p> <p>三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会</p> <p>ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）</p> |
| 受託会社 | <p>ファンドの財産の保管および管理等を行います。</p> <p>三菱UFJ信託銀行株式会社</p> |
| 販売会社 | <p>ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。</p> |

販売会社一覧①

| 販売会社名 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 | 一般社団法人 日本投資顧問業 協会 | 一般社団法人 金融先物取引業 協会 | 備考 |
|-----------------------|---------------------------|---------|----------------------------|-------------------------|-------------------------|----|
| アイザワ証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3283号 | ○ | | ○ | | |
| あかつき証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号 | ○ | | ○ | ○ | ※1 |
| 池田泉州T T証券株式会社 | 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第370号 | ○ | | | | |
| 今村証券株式会社 | 金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第3号 | ○ | | | | |
| 岩井コスモ証券株式会社 | 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第15号 | ○ | | ○ | ○ | |
| auカブコム証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 株式会社S B I証券 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号 | ○ | ○ | | ○ | |
| OKB証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第191号 | ○ | | | | ※1 |
| 岡三証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ※2 |
| 岡三にいがた証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第169号 | ○ | | | | |
| 岡地証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第5号 | ○ | | ○ | | |
| 香川証券株式会社 | 金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第3号 | ○ | | | | |
| 木村証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第6号 | ○ | | | | |
| くんぎん証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2938号 | ○ | | | | |
| GMOクリック証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第77号 | ○ | ○ | | ○ | |
| 静岡東海証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第8号 | ○ | | | | |
| 十六T T証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第188号 | ○ | | | | |
| 第四北越証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第128号 | ○ | | | | |
| 中銀証券株式会社 | 金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第6号 | ○ | | | | |
| 東海東京証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号 | ○ | ○ | | ○ | |
| 東洋証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号 | ○ | ○ | | | |
| 南都まほろば証券株式会社 | 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第25号 | ○ | | | | |
| 西日本シティT T証券株式会社 | 金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号 | ○ | | | | |
| 野村證券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 八十二証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第21号 | ○ | | ○ | | |
| 浜銀T T証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1977号 | ○ | | | | |
| 播陽証券株式会社 | 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第29号 | ○ | | | | |
| フィデリティ証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号 | ○ | | ○ | | |
| フィリップ証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第127号 | ○ | | | ○ | |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号 | ○ | | | ○ | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 丸八証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第20号 | ○ | | | | |
| 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2336号 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| むさし証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第105号 | ○ | ○ | | | |
| 明和證券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第185号 | ○ | | | | |
| めぶき証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1771号 | ○ | | | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ワイエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第8号 | ○ | | | | |

※1：グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジなし）のみのお取扱いとなります。

※2：ネット専用です。

販売会社一覧②

| 販売会社名 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 | 一般社団法人 日本投資顧問業 協会 | 一般社団法人 金融先物取引業 協会 | 備考 |
|------------------------|------------------------|---------|----------------------------|-------------------------|-------------------------|-------|
| 株式会社足利銀行 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第43号 | ○ | | | ○ | |
| 株式会社SBI新生銀行（SBI証券仲介） | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号 | ○ | | | ○ | ※2, 3 |
| 株式会社SBI新生銀行（マネックス証券仲介） | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号 | ○ | | | ○ | ※2, 4 |
| 株式会社大分銀行 | 登録金融機関 九州財務局長（登金）第1号 | ○ | | | | ※1 |
| 株式会社大垣共立銀行 | 登録金融機関 東海財務局長（登金）第3号 | ○ | | | ○ | ※1 |
| 株式会社関西みらい銀行 | 登録金融機関 近畿財務局長（登金）第7号 | ○ | | | ○ | |
| 株式会社京都銀行 | 登録金融機関 近畿財務局長（登金）第10号 | ○ | | | ○ | |
| 株式会社熊本銀行 | 登録金融機関 九州財務局長（登金）第6号 | ○ | | | | |
| 株式会社滋賀銀行 | 登録金融機関 近畿財務局長（登金）第11号 | ○ | | | ○ | ※1 |
| 株式会社十八親和銀行 | 登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第3号 | ○ | | | | |
| 株式会社大光銀行 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第61号 | ○ | | | | |
| 株式会社第四北越銀行 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第47号 | ○ | | | ○ | |
| 株式会社中京銀行 | 登録金融機関 東海財務局長（登金）第17号 | ○ | | | | |
| 株式会社トマト銀行 | 登録金融機関 中国財務局長（登金）第11号 | ○ | | | | |
| 株式会社富山銀行 | 登録金融機関 北陸財務局長（登金）第1号 | ○ | | | | |
| 株式会社富山第一銀行 | 登録金融機関 北陸財務局長（登金）第7号 | ○ | | | | |
| 株式会社南都銀行 | 登録金融機関 近畿財務局長（登金）第15号 | ○ | | | | ※2 |
| 株式会社百十四銀行 | 登録金融機関 四国財務局長（登金）第5号 | ○ | | | ○ | |
| 株式会社福井銀行 | 登録金融機関 北陸財務局長（登金）第2号 | ○ | | | ○ | |
| 株式会社福岡銀行 | 登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第7号 | ○ | | | ○ | |
| PayPay銀行株式会社 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号 | ○ | | | ○ | |
| 株式会社三菱UFJ銀行（仲介） | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第5号 | ○ | ○ | | ○ | ※5 |
| 株式会社宮崎銀行 | 登録金融機関 九州財務局長（登金）第5号 | ○ | | | | ※1 |
| 株式会社山形銀行 | 登録金融機関 東北財務局長（登金）第12号 | ○ | | | | ※1, 2 |
| 株式会社山梨中央銀行 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第41号 | ○ | | | | |
| みずほ信託銀行株式会社 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第34号 | ○ | | | ○ | |

※1：グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジなし）のみのお取扱となります。 ※2：ネット専用です。 ※3：委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券 ※4：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社 ※5：委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（オンライントレードのみ）

【Morningstar Award Fund of the Year 2021】に関する留意事項

Morningstar Award “Fund of the Year 2021”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター株式会社※（現：ウエルスアドバイザー株式会社）が信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社（現：ウエルスアドバイザー株式会社）並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2021年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスター※（現：ウエルスアドバイザー株式会社）が判断したものです。国際株式（グローバル・含む日本）型 部門は、2021年12月末において当該部門に属するファンド371本の中から選考されました。

※モーニングスター株式会社は2023年3月30日付で、SBIグローバルアセットマネジメント株式会社に社名を変更いたしました。現在、投資情報サービスおよび投信評価事業は同社の子会社であるウエルスアドバイザー株式会社で行っております。

【重要な注意事項】

- ◆ 当資料は三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- ◆ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- ◆ 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- ◆ 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。
- ◆ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。
- ◆ 当資料に評価機関等の評価が掲載されている場合、当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

作成基準日：2023年4月10日